

【 日本鍼灸師会 平成27年度定時代議員総会報告 】

日本鍼灸師会 平成27年度定時代議員総会が、東京渋谷の日本鍼灸理療専門学校（渋谷インフォスタワー）3階講堂にて開催された。

（一社）愛知県鍼灸師会からは、山田鑑照副会長と山田憲治業務執行理事が出席した。

平成27年度定時代議員総会は、13時に仲野会長の挨拶で始まり、平成26年度事業報告、平成27年度事業報告等がなされた。

○仲野会長の挨拶では、

- ・ 無資格者問題として、携帯用の厚生労働省大臣免許保有証を作成して国家資格保持者であることを明示することを要望し、厚生労働省から東洋療法研修試験財団に、その施行について指示された。
- ・ 「国民のための鍼灸医療推進機構」（4団体：日鍼会、全鍼師会、全日学、学校協会）の生涯研修制度に基づく鍼灸師卒後臨床研修プログラムが始まった。
- ・ 日本鍼灸師会を構成する各都道府県の同志として協力し、努力した者が報われる組織づくりのために、総力を結集する総会になりますようにご協力をお願いしますと挨拶された。

○定時代議員総会質問書に対して、それぞれの担当役員が回答を行った。

その中で、介護予防運動指導員養成講座の受講料収入が不透明であるという質問があり、中村会長、顧問公認会計士、顧問弁護士等から説明があった（1時間ぐらいかかった）。最後に会長によれば、介護予防運動指導員養成講座事業の会計処理が、きちんとされていなかったということで、今後、事業の会計の担当者を増やすということであった。

○決議事項として、平成 26 年度決算書、定款および諸規定変更、理事・監事選任があった。

理事・監事選任は、承認をするか、しないかの投票をするということになり、投票が行われ、一人の候補者を除き、理事 19 名、監事 2 名が承認された。

文責 山田憲治

